

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

少子高齢化でも国内市場にチャンスはある 鈴木 敏文 (セブン&アイ、ホールディングス会長)

1. これまで 40 年間、それなりに成長することができた。それは、セブンイレブンが世の中の変化に対応してきたからだ。これまでは世の中は大きく変わってきたが、この先は異質な変化がやってくる。例えば、オムニチャンネル化をどう軌道に乗せるか。これまではリアル店舗とネット通販とは別々のものとして存在してきたが、今後は完全に融合したものになっていくでしょう。オムニチャンネル化をやっついていかないとこれからの成長はありえない。
2. これまではイトーヨーカ堂もそごう・西武も、赤ちゃん本舗も、それぞれがネットの分野に出ていったが、それを統合することでお客さまはグループ各社の商品をまとめて注文し、一緒に自宅に届く。あるいは最寄りのセブンイレブンの店舗で受け取るといったことができるようになり、利便性は大きく高まっていく。少子高齢化で国内市場にチャンスはないと言われるが、これからもどんどん変化は起こる。それにチャレンジしていけば成長機会はむしろ国内の方が大きいと思っている。
3. 社内では「待ちの姿勢はよくない」と言っている。問屋やメーカーが話を持ってきてくれるのを待っているようでは駄目で、自分たちで切り込んでいかないといけない。肝心なのは過去の成功体験を捨てて、どれだけ挑戦できるかということだ。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2013 年 12 月 7 日号)

新成長分野

建機レンタル再び上向く (ゼネコンの駆け込み等)

1. 建設機械レンタルの需要が急増している。工事が増えれば当然建機の需要は高まるが、ゼネコン各社は受注がいつ途切れるかわからない。必要なときに必要な期間だけ借りられるレンタル建機で乗り切ろうという算段だ。足元では大繁盛の建機レンタルだが、冬の時代は長かった。たとえば、20 トンクラスの油圧ショベルは、1990 年に 60 万前後だった 1 カ月のレンタル料金が、2010 年には 15 万まで下落。各社は使い古した建機を東南アジアなどへ中古販売などで、何とか生き延びてきた。
2. 月間レンタル料金も前述の油圧ショベルで、東北で 30 万円強、首都圏で 20 万円強まで上向いた。しかし、全盛時の半分程度にすぎない。ゼネコンからの値下げ圧力は依然強く目の前の高い需要に各社は決して安心していない。
(参考:「週刊東洋経済」: 2013 年 12 月 7 日号)

心・健康・環境について

生活習慣病・うつ病対策を考える

1. 国民医療費の膨張が止まらない。昨年 11 月、2011 年度の国民医療費が 38.6 兆円であったと発表された。この 10 年間、毎年約 8000 億円のペースで増加している。企業側の視点では、医療費以上に大きな問題である、「企業のコストとして、医療費よりプレゼンティズム (出勤するものの心身の不調により生産性が低下している状況) のほうが大きいという研究結果が米国にあります。生活習慣病やうつ病などによる生産性低下は深刻です」(東京大学政策ビジョン研究センターの尾形裕也特任教授)
2. 日本航空健保では、総医療費に占める生活習慣病関連の医療費は約 4 割を占め、医療費抑制の面からも、生産性向上の面からも生活習慣病対策は喫緊の課題として手を打っている。健保をただの出先機関と捉えるか、生産性向上のための重要なツールと捉えるかは企業次第で、とりわけ経営者の意思にかかる比重は大きい。
(参考:「WEDGE」2014 年 2 月号)

古典に学ぶ

無為のはたらき

(解説) 最も柔らかいものは、最も堅いものをも征服する。なぜかといえば、形のないものは、隙間のないところへも入りこむことができるからだ。これだけ見ても無為のはたらきの大きさが判る。ものいわぬ自然の教え、無為のはたらきの大きさ、これに勝るものは天下にない。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)